

伊勢湾貧酸素情報（第 7 報）

三重県水産研究所 鈴鹿水産研究室

伊勢湾の底層で5月から観測されていましたが貧酸素水塊は、湾奥部と湾中央部の一部のみでの形成となり、貧酸素水塊はまもなく消滅するものと思われます。

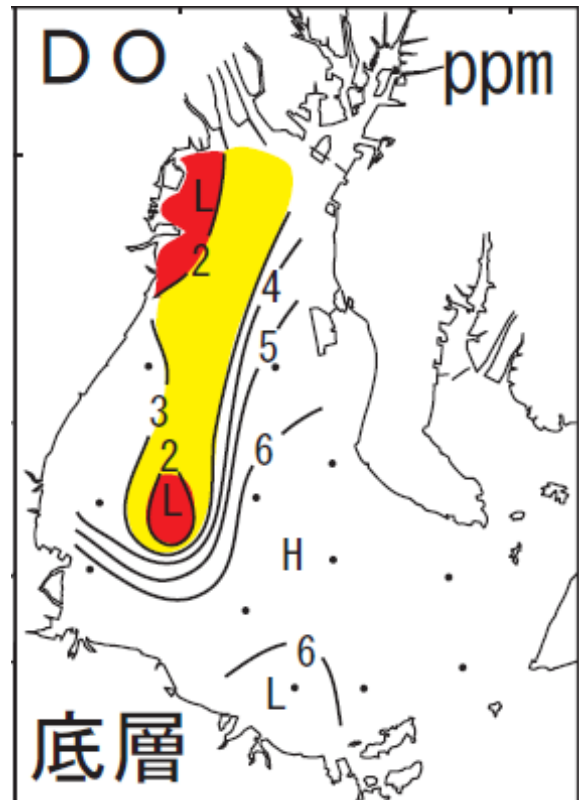
1 1 月 4 日の調査結果

11 月 4 の調査船「あさま」の定線観測によると、水温は表層で 18.7～20.4℃、10m で 19.1～21.2℃、底層で 19.4～21.4℃の範囲にあり、表層、10m、底層とも平年よりやや高めとなっていました。

DO（溶存酸素量）は表層で 5.8～7.8ppm、10m で 3.3～7.2ppm、底層で 1.4～6.7ppm の範囲にあり、表層と底層は平年よりやや低め、10m では平年並となっていました。

5 月から観測されていましたが貧酸素水塊は、湾奥部と湾中央部の一部のみでの形成となり、伊勢湾の貧酸素状態は解消に向かっています。

表層と底層の水温差等が小さく、海水が混合しやすい状態のため、貧酸素水塊はまもなく消滅するものと思われます。



底層貧酸素水塊分布図